

船中八策

坂本龍馬

- 一、天下の政權を朝廷に奉還せしめ、政令宜しく朝廷より出づべき事。
- 一、上下議政局を設け、議員を置きて万機を参賛せしめ、万機宜しく公議に決すべき事。
- 一、有材の公卿・諸侯及《および》天下の人材を顧問に備へ、官爵を賜ひ、宜しく従来有名無実の官を除くべき事。
- 一、外国の交際広く公議を採り、新《あらた》に至当の規約を立つべき事。
- 一、古来の律令を折衷し、新に無窮の大典を撰定すべき事。
- 一、海軍宜しく拡張すべき事。
- 一、御親兵を置き、帝都を守衛せしむべき事。
- 一、金銀物貨宜しく外国と平均の法を設くべき事。

以上八策は、方今天下の形勢を察し、之を宇内万国に徴するに、之を捨てて他に濟時の急務あるべし。苟も此数策を断行せば、皇運を挽回し、国勢を拡張し、万国と並立するも亦敢て難しとせず。伏て願くは公明正大の道理に基き、一大英断を以て天下と更始一新せん。

この文は、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られたデータを利用していただいています。注意書き・ルビ等は電本座の編集上の都合により省略したり、変更しているものもあります。底本・注意書き・文字データ・校正など詳細を必要とされる方は、青空文庫をご覧ください。